

事業所における自己評価結果(公表)

公表: 2023年 4月 23日

事業所名 KID ACADEMY枚方校

| | | チェック項目 | はい | いいえ | 工夫している点 | 課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標 |
|---------|----|--|----|-----|---------|---|
| 環境・体制整備 | 1 | 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である | ○ | | | 活動内容に合わせ、日々配置を見直し支援を行っております。 |
| | 2 | 職員の配置数は適切である | ○ | | | 厚生労働省の指定基準を遵守し運営しております。 |
| | 3 | 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている | ○ | | | 利用児に分かりやすい導線を確保した上で、職員全員が全体を見渡せるような配置をしております。 |
| | 4 | 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている | ○ | | | 清掃は常にしており、使用後の教具や机などの消毒も随時行っております。身体を動かす十分な空間を保っております。 |
| 業務改善 | 5 | 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している | ○ | | | 本社と連携を図り、スタッフ間でも共有しております。 |
| | 6 | 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている | ○ | | | 評価票はもちろん、面談やアセスメント調書の記載時などに保護者様の意見(ご要望)を聞いた上で改善へと繋げております。 |
| | 7 | 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している | ○ | | | 事業所評価票を元にスタッフ間で話し合い改善点を共有し、内容はホームページに記載しております。 |
| | 8 | 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている | | ○ | | 現在、当事業所では実施しておりません。 |
| | 9 | 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している | ○ | | | 全スタッフのスキルアップ研修を行い、今後も全スタッフの資質向上のために努めて参ります。 |
| | 10 | アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している | ○ | | | 定期的に面談を行い、お子様の課題を全スタッフで話し合い、保護者様のニーズにも合わせた支援を心掛けております。 |
| | 11 | 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している | | ○ | | 標準化されたアセスメントツールではなく、利用児の行動観察などを基盤に課題を見つけ、保護者、保育所幼稚園などへの聞き取りから支援計画へと繋げております。 |
| | 12 | 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている | ○ | | | 支援計画に掲げきれない細かな箇所においても職員間で話し合い、日々の支援に関わっております。 |
| | 13 | 児童発達支援計画に沿った支援が行われている | ○ | | | 支援計画の記載内容以外にも必要な項目についても職員間で話し合い、日々お子様に必要な課題に向けて支援に関わっております。 |

| | | チェック項目 | はい | いいえ | 工夫している点 | 課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標 |
|--------------------|----|---|----|-----|---------|---|
| 適切な支援の提供 | 14 | 活動プログラムの立案をチームで行っている | ○ | | | 話し合いの時間を常に設け、全スタッフで立案しております。 |
| | 15 | 活動プログラムが固定化しないよう工夫している | ○ | | | 固定化しないよう日々の振り返りを行いながらスタッフ間で話し合いながらカリキュラムを組んでおります。 |
| | 16 | 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している | ○ | | | お子様の課題を明確にした上で発達段階や保護者様のご要望にも合わせ、個別、2対1、集団活動など必要な計画を立てております。 |
| | 17 | 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している | ○ | | | 毎朝のミーティングを通し、個々の活動内容を全スタッフで共有しております。 |
| | 18 | 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している | ○ | | | その日行った支援内容やお子様の様子、保護者様からのお言葉など常に共有しております。 |
| | 19 | 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている | ○ | | | 保護者様への連絡(日報)だけでなく、来所の様子や職員が感じたことなども記録しております。 |
| | 20 | 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している | ○ | | | 常にお子様の成長においての話し合いの時間を持つ中で、課題の見直し、見直しを明確にする場として必要不可欠と認識しております。 |
| 関係機関や保護者との連携関係機関や保 | 21 | 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している | ○ | | | 他事業所との意見交換が出来る場があれば積極的に参加して参りたいと考えております。 |
| | 22 | 母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている | ○ | | | 連携体制を見直し、関係機関との連携を強化したいと考えております。 |
| | 23 | (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている | | | | 現在、該当するお子様の利用はありませんが、今後必要の際は連携体制を整えていきたいと考えております。 |
| | 24 | (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている | | | | 現在、該当するお子様の利用はありませんが、今後必要の際は連携体制を整えていきたいと考えております。 |
| | 25 | 移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている | ○ | | | 定期的に園訪問を行い、お子様の課題に向けての情報共有を行っております。 |
| | 26 | 移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている | | ○ | | 現在、小学校などとの共有は行っておりませんが必要に応じて連携を持たせていただければと思います。 |
| | 27 | 他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている | ○ | | | 必要に応じて連携できるような体制を整えております。 |

| | | チェック項目 | はい | いいえ | 工夫している点 | 課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標 |
|------------|----|--|----|-----|---------|---|
| 護者との連携 | 28 | 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある | | ○ | | 現在、交流の機会はありませんが利用児にとって可能な環境な体制が整うのであれば連携の機会も考慮していきたいと考えております。 |
| | 29 | (自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している | | ○ | | 機会があれば是非、参加させて頂けたらと思います。 |
| | 30 | 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている | ○ | | | 申し送りや日報にて日々のお子様の様子を伝えております。 |
| | 31 | 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている | | ○ | | 現在、当事業所ではペアレントトレーニングの取り組みは行っておりません。 |
| 保護者への説明責任等 | 32 | 運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている | ○ | | | 保護者様の反応(表情)を見極め、不明点や疑問点など無いよう努めております。 |
| | 33 | 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている | ○ | | | お子様の課題について例題をあげるなど詳しくお伝えするよう尽力しております。必ず保護者様からの同意をいただき、その場で捺印していただいております。 |
| | 34 | 定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている | ○ | | | 申し送りや面談の際に助言をさせて頂いたり、相談内容によっては持ち帰り、職員間で話し合いを持ち早急にお返事させて頂くよう心掛けております。 |
| | 35 | 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している | ○ | | | 年3回の保護者勉強会を実施してはりましたが、昨年度はコロナの影響で1回のみで開催となりました。今年度は保護者様同士の連携を持てる機会を作り、たくさんの参加を目指しております。 |
| | 36 | 子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している | ○ | | | 申し送りや面談の際に助言をさせて頂いたり、相談内容によっては持ち帰り、職員間で話し合いを持ち早急にお返事させて頂くよう心掛けております。 |
| | 37 | 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している | ○ | | | 月1回、マンスリー通信を配布し、お子様の様子や活動内容をお伝えしております。 |
| | 38 | 個人情報の取扱いに十分注意している | ○ | | | 鍵付きの保管庫で保管をしております。 |
| | 39 | 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている | ○ | | | 伝達が届くよう分かりやすい言葉での説明を心掛け、図で表すなどの配慮をしております。 |

| | | チェック項目 | はい | いいえ | 工夫している点 | 課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標 |
|---------|----|--|----|-----|---------|--|
| | 40 | 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている | | ○ | | 現在、当事業所では行事などの取り組みは行っていません。 |
| 非常時等の対応 | 41 | 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している | ○ | | | 緊急用リュックサックを常に届く場所に置き、マニュアルを全職員で把握しております。 |
| | 42 | 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている | ○ | | | 職員間で避難訓練の時間を設け、様々な想定での避難を訓練し、避難経路なども把握しております。 |
| | 43 | 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している | | ○ | | 現在、こまかな既往歴などの記載事項はありませんが、今後契約時に既往歴の確認を行い、職員全員で把握して参ります。 |
| | 44 | 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている | | ○ | | 食事の提供を行っていません。来所時に自宅からお茶(水)の持参をお願いしております。 |
| | 45 | ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している | ○ | | | 職員間で共有しております。またリーダー会議を通して対応策、改善策などの話し合いを行っております。 |
| | 46 | 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている | ○ | | | 虐待防止の責任者を選定し、全職員が虐待防止の研修に参加しております。 |
| | 47 | どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している | ○ | | | 現在、該当するお子様はおりませんが、必要に応じて保護者様との話し合いを持ち了解を得る過程については周知しております。 |

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は事業所全体で行った自己評価です。